

アカミミガメ

【条件付特定外来生物】

分類: カメ目ヌマガメ科アカミミガメ属

学名: *Trachemys scripta*

英名: pond slider

別名: ミドリガメ(亜種ミシシippアカミミガメの幼体の呼称)

原産地と分布: アメリカ合衆国東南部からメキシコまで。日本を含む世界各地に侵入、定着している。

未判定外来生物: なし

種類名証明書添付生物: アカミミガメ属の全種及びアカミミガメ×クーターガメ属またはニシキガメ属に属する種間の交雑により生じた生物 (R5.6.1より)

形態的特徴

雄は背甲長 20 cm、雌は 28 cm、2.5 kg 程度まで成長し、雌は雄よりもずっと大型になる。ミシシippアカミミガメ、キバラガメ、カンバーランドキミミガメの 3 亜種が含まれ、日本の野外で見られる個体や、かつて流通していた個体のほぼ全てがミシシippアカミミガメである。背甲は深緑色を基本として、黄色と黒色の縞模様がある。腹甲は黄色地に褐色の斑紋をもつ。ミシシippアカミミガメとカンバーランドキミミガメのオスは成長に伴い黒化し、幼体やメス成体と模様や色が異なる。

■ 亜種ミシシippアカミミガメ

成体



背面は深緑色を基本として、黄色と黒色の縞模様がある。

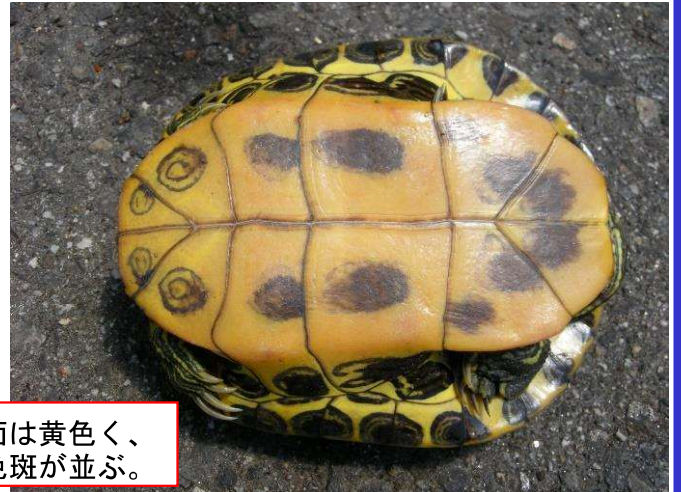
背面の後縁はいくらかキザキザしている。

ヤギのような横長の目。

目の後ろの赤い斑紋が目立つ。

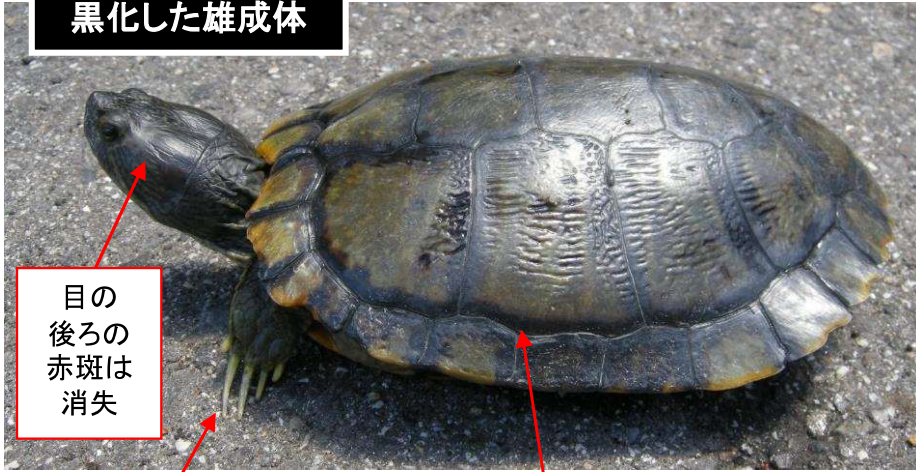
目の下から頸に向かう黄色の線が目立つ。頸にも模様がある。

腹面は黄色く、褐色斑が並ぶ。

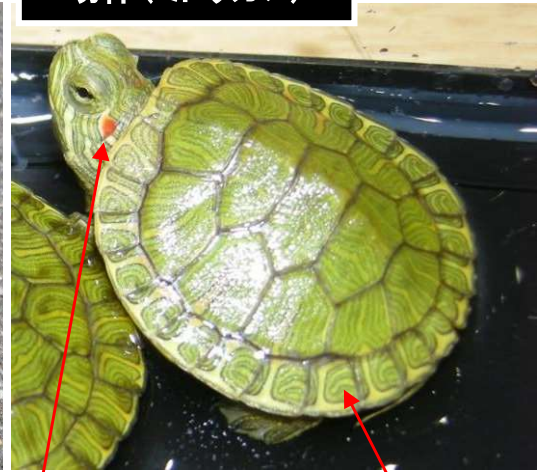


■ 亜種ミシシippアカミミガメ(続き)

黒化した雄成体



幼体(ミドリガメ)



目の後ろの赤斑は消失

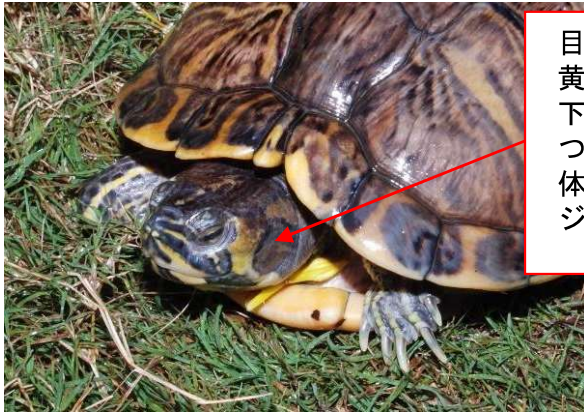
雄成体の前足の爪は長い。

黄色い模様が消失して黒っぽくなり、甲板が黒く縁どられる。

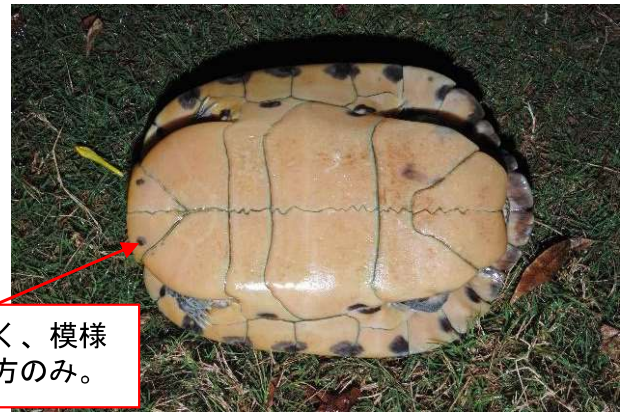
目の後ろに赤い斑紋

背甲の緑色は鮮やか

■ 亜種キバラガメ



目の後ろに大きな黄色い模様があり下方で頸の模様とつながる。この個体の模様はオレンジ色だが、黄色の個体が普通。



背甲は黄色く、模様はないか前方のみ。

■ 亜種カンバーランドキミミガメ

この亜種は他の亜種に比べると小型で、背甲長は21cm程度。

目の後方の斑紋が黄色い。



腹面は黄色く、褐色斑が並ぶ。



写真提供: ミシシippアカミミガメは自然環境研究センター、キバラガメ、カンバーランドキミミガメは川添宣広

特記事項: アカミミガメの黒化した雄がニホンイシガメや他のカメ類に間違われることがある。アカミミガメの雄成体は前足の爪が細長く伸びるので、まぎらわしい個体を見た場合には爪を確認するとよい。